

意見

NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット事務局長
鬼沢 良子

申し訳ありませんが、本日、所用により欠席せざるを得ないので、書面にて下記のとおり意見を申し上げます。

記

(1) 「資料3-1 自動車リサイクル制度の見直しに受けた主な論点について」について

事前に送付された資料を拝見する限り、以下の論点が不足していると考えますので明確に示していただくようお願いします。

- ・ 3Rの推進・質の向上のためには、自動車メーカーが自動車を製造する際
の取組も重要であり、自動車メーカーがより一層再生資源を利用するように
促すための取組についても検討が必要ではないか
- ・ 現在の制度では、ユーザーが負担したリサイクル料金がエアバッグ類、フ
ロン類、ASRのリサイクルにしか使われていないため、例えば、解体業者
や破砕業者が行う先進的な取組や、リユースを促進するような取組に対して、
自動車メーカーがリサイクル料金の一部を充てて支援するなど、柔軟な使い
方を可能とするような検討が必要ではないか
- ・ リユース部品の利用を進めるためには、利用することのメリットをユーザ
ーが理解するための活動が必要ではないか

(2) 今後の合同会議における議論の進め方について

今後、自動車リサイクル制度を巡る個別の課題の解決方策について議論する
際に、現在の合同会議では人数、時間、会場等の制約から十分な議論を尽くせ
ないことが懸念されます。例えば、より少人数のワーキンググループなどを設
けるなど、十分に議論をすることができる体制が必要と考えます。

以上